

## 水 土 里 レ ポ ー ト

投稿月日	
タイトル	「田んぼの学校」那須苗取り田植唄保存会による～草取り～
水土里レポーター名	水土里ネット那須野ヶ原 参事 星野 恵美子

平成29年度7月16日（日）、「田んぼの学校」において～草取り～が、会員指導者や自治会、会員親子等、約40名参加により行われました。

5月に植えた苗も青々と成長し、田んぼ一面が深緑に染まっていました。写真の稲が手前と奥では色が多少違うのですが、わかりますか？手前が、田んぼの学校で植えた苗で、奥が機械で植えた苗です。会員指導者の方のお話しによると、機械では浅く植えられ、手作業では深く植えられるため、根がしっかりと張り色も濃く強い稲に成長しているのではないかと、言っていました。機械の様に綺麗な列には植えられないけれど、稲は手を掛ければ掛けた分、答えてくれるのですね。

さて、指導者の方から草取りの道具の説明を受け、いよいよ草取り作業を始めました。毎年継続して「田んぼの学校」の活動に参加している子供達は、慣れた手つきで作業を進めました。中には初めての体験でうまく進めない子もいましたが、指導者と共に押して引いてを繰り返し、蛇行している稲の間を進みました。また、水が入っている田んぼに裸足で入る事が初めての子は、泥の感触が気持ち悪く嫌がりながらも、まずはお父さんと田んぼに入る練習から始める子もいました。この子も、来年にはカエルを追いかけながら泥の中を駆け回るかと思うと、とても微笑ましいと感じつつ、成長を見守って参りたいと思います。

上学年の子達は、カエルと戯れながら順番を待ち、作業は順調に終了しました。秋の収穫が楽しみです。



説明を受ける子供達



草取り機による  
草取り作業



裸足になり、順番待ち